

インフルエンザやロタウイルスの患者数が増加するこの季節  
**東洋新薬の阿波晩茶由来『サポート乳酸菌<sup>TM</sup>YM』で  
 ウイルス性の下痢発症抑制作用を確認**

健康食品・化粧品の総合受託(ODM)メーカーの株式会社東洋新薬(本社:福岡県福岡市、本部:佐賀県鳥栖市、代表取締役:服部利光)は、当社の阿波晩茶由来『サポート乳酸菌<sup>TM</sup>YM』でロタウイルス感染による下痢発症抑制作用が確認されたことを発表します。

■『サポート乳酸菌<sup>TM</sup>』とは

『サポート乳酸菌<sup>TM</sup>』は、“阿波晩茶”から単離された乳酸菌で、抗ウイルス作用をもつ『サポート乳酸菌<sup>TM</sup>YM(*Lactobacillus pentosus*)』と、抗アレルギー作用をもつ『サポート乳酸菌<sup>TM</sup>FG(*Lactobacillus plantarum*)』があります。



■『阿波晩茶』とは

お茶には緑茶(不発酵茶)や、紅茶あるいはウーロン茶(茶葉のもつ酵素による発酵茶で、前発酵茶もしくは半発酵茶と称される)といったものが一般的に知られています。

**阿波晩茶**はそれらとは異なり、**茶葉を微生物によって発酵させた“後発酵茶”**と呼ばれるお茶で、中国のプーアル茶がその一つです。

なお、日本国内では馴染みの薄い後発酵茶ですが、**阿波晩茶(徳島)**のほか、富山黒茶(富山)、碁石茶(高知)、石槌黒茶(愛媛)があげられ、限られた地域で**古くから伝わる伝統的なお茶**です。

近年、後発酵茶による血糖値抑制作用、肝機能の向上など機能性食品としての一面が注目されています。

以下、『サポート乳酸菌<sup>TM</sup>YM』の機能性研究結果をご紹介します。

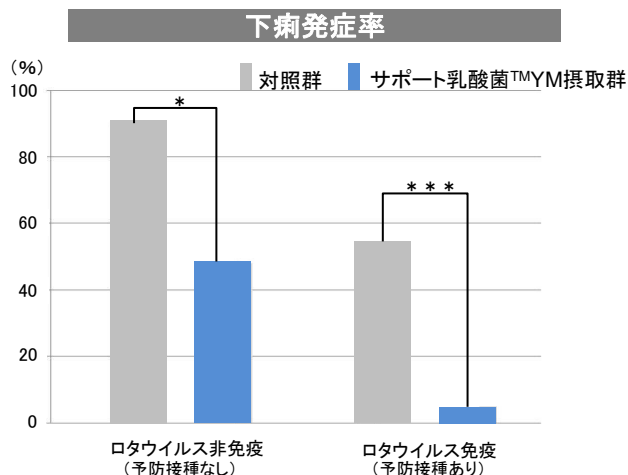
サポート乳酸菌<sup>TM</sup>  
**YM**  
 阿波晩茶由来

抗ウイルス作用

ウイルス性の下痢の発症を抑制

**ロタウイルス感染による下痢発症抑制作用**

母マウスに、サポート乳酸菌<sup>TM</sup>YM を出産6週間前から摂取させ、その仔マウスにロタウイルスを感染させた時の下痢発症率を調べました。



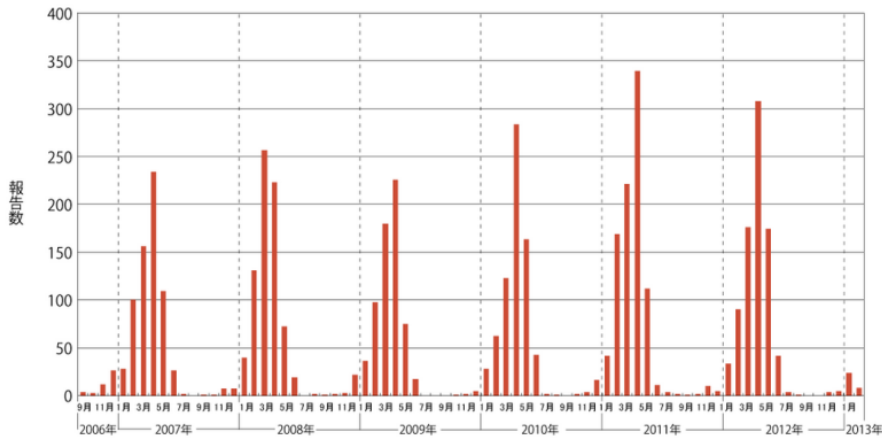
\* : 対照群に対して有意差有(p<0.05)  
 \*\*\* : 対照群に対して有意差有(p<0.001)

## 冬に患者数が増加するインフルエンザやロタウイルス

冬は空気が乾燥するため気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなると言われています。厚生労働省によると、例年12月～3月頃に流行するとされており、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が広がると言われています。

また、当社の『サポート乳酸菌™YM』でロタウイルス感染による下痢発症抑制作用が確認されましたが、**ロタウイルスによる感染性胃腸炎も、年末から徐々に患者数が増加し春先にピークを迎えます。**

ロタウイルスは、感染力が非常に強いいため感染予防はきわめて難しく、5歳までに世界中のほぼすべての小児が感染し、胃腸炎を発症するとされています。日本でも感染者数は非常に多いため、小児感染症における重要な病原体の一つです。



感染症発生動向調査に報告されたロタウイルス胃腸炎の流行曲線

<参考>厚生労働省ホームページ、国立感染症研究所ホームページより

## 東洋新薬の乳酸菌に期待される効果

サポート乳酸菌™

FG

阿波晩茶由来

抗アレルギー

花粉症諸症状緩和作用

サポート乳酸菌™

YM

阿波晩茶由来

抗ウイルス

抗ウイルス作用

韓流乳酸菌™

KL

キムチ由来

ダイエット

体重増加抑制作用

韓流乳酸菌™

AC

マッコリ由来

美容

コラーゲン産生促進作用

### <トピックス>

東洋新薬では、トクホ許可取得数No.1のノウハウを生かし、『食品の新たな機能性表示制度に対応した商品』に関して、機能性素材の安全性・有効性調査、臨床試験によるエビデンス取得、cGMPに準拠した工場での製造、表示・表現のサポートまで、お客様のニーズに応じたご提案をします。

### ■株式会社東洋新薬

東洋新薬は、「これまでの常識や固定観念にとらわれない健康食品や化粧品、医薬品を創り、世界へ送り出す」という志を社名に込めて1997年に創業した健康食品・化粧品・医薬品のODMメーカーです。  
健康食品・化粧品・医薬品の受託製造にとどまらず、事業全般に亘るコンサルティングや商品企画、マーケティング支援までの豊富なノウハウを活用したビジネスソリューションを提供しており、ビタミンCの600倍の抗酸化作用を持つ松樹皮抽出物『フラバンジェノール®』をはじめとする高機能性素材の研究開発にも注力しています。  
また、特定保健用食品(トクホ)の許可取得数は258件と日本一(2014年12月時点)で、そのノウハウを活用した独自のCRO事業(トクホ開発と臨床試験受託)を展開しています。  
製造工場は、NSF GMP(ダイエタリーサプリメントの製造、包装、表示及び保管において適切な管理を行うための米国標準規格)認証を国内ODMメーカーとして初めて取得しているほか、健康補助食品GMP適合認定、ISO9001:2008、ISO22000:2005認証も取得しており、国際レベルの水準をクリアした品質管理体制を構築しています。

### ■会社概要

社名)株式会社東洋新薬(創業)1997年9月18日(代表者)代表取締役 服部 利光  
本部・鳥栖工場)佐賀県鳥栖市弥生が丘7-28  
本社・福岡支店)福岡県福岡市博多区駅前2-19-27九勸博多駅前ビル  
東京支店)東京都千代田区内幸町1-1-7 NBF日比谷ビル 大阪支店)大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋  
事業内容)健康食品・機能性食品・トクホ商品・医薬品・化粧品・医薬部外品の受託製造、販売及び研究、開発  
ホームページ) <http://www.toyoshinyaku.co.jp>

※『東洋新薬』のブランドロゴ、『フラバンジェノール』及びそれらのブランドロゴは、株式会社東洋新薬の登録商標です。